

5月以降 下降する中国の株式市場 6月末、4年9ヶ月ぶりの安値

2013年6月26日
新光投信株式会社

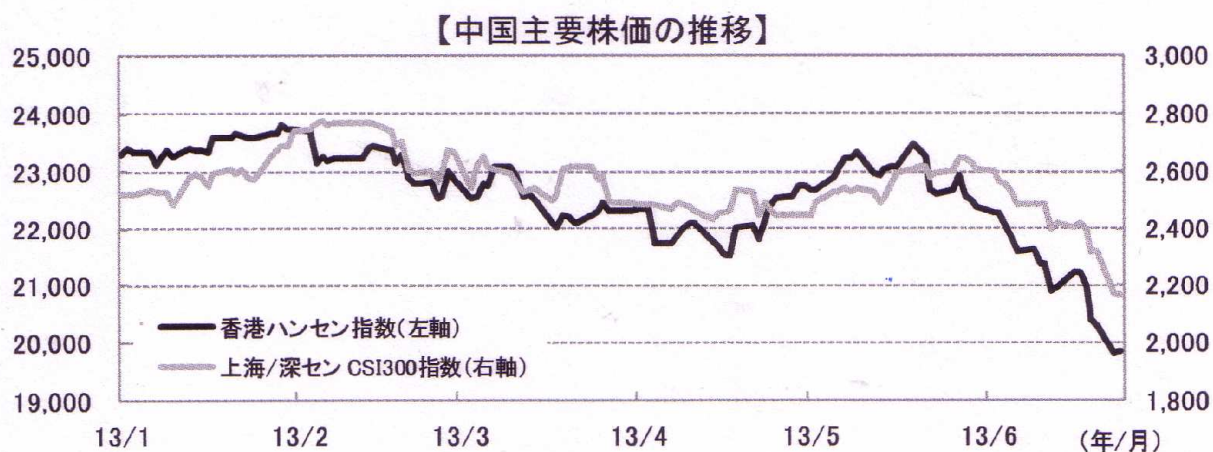
◆中国株式市場の現状

最近の中国株式市場は大きく下落しています。

5月下旬以降、FRB(米連邦準備制度理事会)が景気支援のために実施しているQE3(量的緩和政策第3弾)の縮小が視野に入ってきたことから、世界の株式市場の上昇を支えてきた流動性が吸収される可能性が高まり、中国株式に対する投資家心理は大幅に悪化しました。

中国では6月の上旬から銀行間取引市場において短期金利が急上昇し、一部の銀行の資金繰りが悪化しているとの噂が広がったことや、中旬に発表された経済指標は事前予想を下回るものが多く、景気減速懸念が改めて意識されたことから株価は下落基調が続きました。

更に6月下旬には、中国の銀行間取引市場における流動性逼迫と不安定な金利変動が続いているにも関わらず、中国人民銀行(中央銀行)が安易に流動性を供給しない方針を示したことから、一部の銀行の資金繰りに対する懸念が再度広がったうえ、足もとで景況感が悪化するなか、政府が目先の景気支援よりも中長期的な成長に向けた経済改革を断行する意思を示しており、短期的に景気が減速する可能性が意識されたことも株価の下落に拍車を掛けました。



出所:ブルームバーグのデータを基に新光投信作成 期間:2013年1月2日~2013年6月25日

上記グラフは過去の実績を示したものであり、将来の経済、市況、その他の投資環境に係る動向などを示唆あるいは保証するものではありません。